

平成27年度第2回小平市国民健康保険運営協議会要録

日 時 平成27年10月29日（木）午後1時30分開会
場 所 健康センター 第2・第3会議室
出席者 会長、委員11名（欠席者5名）

[主な意見・質疑等]

議題 国民健康保険財政の今後の見通しについて

委 員 : 資料「国民健康保険財政の今後の見通し」では、平成29年度（決算見込）で被保険者数が現時点よりも約2,800人減少とある。事務局の説明では、景気の上向きが影響するとのことだが、2,800人も被用者保険へ移行するのか。

事務局 : 被保険者数は、平成26年度決算で前年度比860人も減少している。平成27年度においてもこのペースでいくと前年度比1,200人の減という見通しを立てており、この先も、景気の動向が著しく変化しなければ、同様のペースで減少傾向であると見込んでいる。また、後期高齢者医療制度への移行の増加も要因の1つとして挙げられる。

報告 今後の予定について

会 長 : 次回からの審議に向けて、今後の都道府県化を踏まえた他自治体の動きがわかる資料があれば提供いただきたい。

委 員 : また、後期高齢者医療制度と国保の違いがわかる資料がほしい（今まで国保加入者が後期高齢者医療制度に移行した場合の、市側の運営方法の違い等）。

事務局 : 国保の「都道府県化」に関して、基本的に事務の中身は変わらない。市町村の役割として、市民の方からの国保の加入、脱退等の資格の手続、また、高額療養費の請求等、窓口業務は、従前どおり市で行う。また、後期高齢者医療は、平成30年度から変更になるといった話はなく、これまでどおりの運営となる。制度上の大きな違いは一覧でまとめ、次回用意する。

次回に審議を継続する。